

クリニカルアートの手法を活かした
美術造形教室
ヴィブアート

「彫刻教室」

9月期クラス

2018年 9月21日・9月28日 金曜日 10:00-15:00

彫刻の基本「量感、構成、動きを学ぶ」～さざえの模刻～

自然物には、私たちが学ぶべき、様々な美のヒントがあります。

なかでも貝殻、とりわけ「さざえ」には、造形を理解する上での全ての要素が詰っており、「量感」、「プロポーション」、「ムーブマン」、「マチエール」について思索を深めることができます。

著名な彫刻家たちも、貝殻をモチーフとして、その造形美を学んでいました。

塑造によって、さざえとじっくり向き合いながら、その有機的な造形の美しさを堪能してみましょ。



Vivre Art

美術造形教室ヴィブアート - Vivre Art - は、クリニカルアート（※1）の手法を活かした、**大人のための美術造形教室**です。絵や立体表現の上達はもちろんのこと、実感を込めた個々の表現を目指した教室です。一人一人に寄り添った丁寧な指導で、初心者でも安心して始められます。

（※1）クリニカルアート（臨床美術）とは、脳科学に基づいた独自のアートカリキュラムに沿って、絵画や立体造形表現を行うことにより、脳機能の活性化を促すことを目的としています。専門的なトレーニングを積んだ「クリニカルアーティスト」の指導のもとで行われます。

「彫刻教室」

Vivre Art

9月21日、28日（金曜日）10:00～15:00（5時間×2）全2回

各自持参品：新聞紙、クロッキー帳、鉛筆（2B）やコンテなど、手拭用タオル

服装：塑造が出来る服装

内容：サザエの模刻（スケッチをもとに粘土によってサザエを模刻します。）

9/21	レクチャー	「彫刻制作の基礎を理解するために」制作の基礎知識や「量感」、「構造」、「ムーブマン」といった形の捉え方について学びます。
	スケッチ	モチーフのさざえの形態を捉え、制作のイメージを高めるためにスケッチします。
	芯棒づくり、粗付け	制作する形を考えて芯棒をつくり、第一印象を大切にしながら大まかに粘土を付けていきます。
9/28	模刻制作、造り込み	さざえの形態を捉えながら、造り込んでいきます。また表面のマチエールなども表現します。
	鑑賞会、撮影	参加者の皆さんと作品を鑑賞しながら、撮影方法のヒントも紹介しながら自分の作品を撮影してみます。（彫塑用粘土は、持ち帰ることができませんので、写真として各自記録していただきます。スマートフォンやデジタルカメラなどをご用意ください。）

彫刻教室講師
保坂 遊



彫刻は実際の素材を自分の身体で扱いつつ表現する立体制作領域です。自分の観たもの感じたものが実際の存在物として現れる表現には多様な魅力があります。今回は、自由に形をモデリングできる粘土の可塑性を楽しみながら、自然物の形態の魅力を感じて制作していきましょう。

プロフィール

彫刻家 臨床美術士1級
東京家政大学 子ども学部准教授
子ども学研究（造形表現）

学歴

日本大学芸術学部美術学科卒業
東北福祉大学大学院総合福祉研究科終了
アートと全ての人【子ども・障がい児・者・健康者・高齢者・認知症高齢者】、社会との関わりの可能性を求めて、美術の社会的貢献や意義について探究しています。

受講料

20,088円（税込）教材費込み

申込期限

2018年9月13日（木）までにお申し込みください。

申込方法

お電話・E-mailにてお申し込みください。

開講決定後、お申込みの方にお手続きをご連絡いたします。
受講料の納入は開講決定連絡受取後をお願いいたします。



芸術造形研究所

<http://www.zoukei.co.jp>

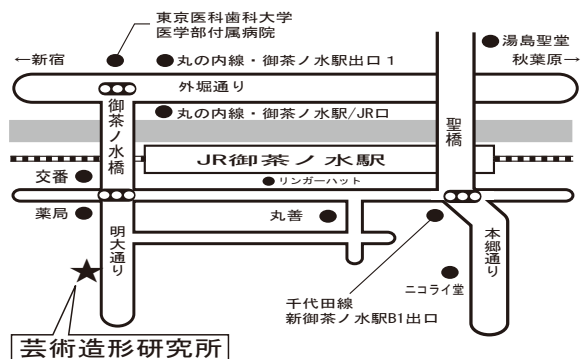
Tel: 03-5282-0210 / E-mail: school@zoukei.co.jp

授業料振込先

下記口座にお振込お願いいたします。
入金を確認され次第、受講手続き完了とさせていただきます。

振込先 みずほ銀行 九段支店（普）1346091
株式会社 芸術造形研究所
※専用の振込用紙はありませんので、
自動振込機等で各自お振込みください。

受講途中での受講料の払い戻しはありません。
受講手続きに関してご不明な点はお問合わせ下さい。



今後の予定

2019年2月15・22日（金曜日）10:00～15:00 金属彫刻「金属板による構成彫刻」